

平成30年第3回（6月）瀬戸内市議会定例会

行政報告

本日は、平成30年第3回（6月）瀬戸内市議会定例会を招集しましたところ、ご多用の中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

邑久長島大橋が5月9日に開通30周年を迎え、長島愛生園、邑久光明園と入所者自治会による記念式典が長島側の橋のたもとで開催されました。両園の自治会長をはじめ出席者のあいさつでは、隔離政策からの解放を象徴し「人間回復の橋」と呼ばれるこの橋の、昭和46年から昭和63年までの17年間にも及ぶ、困難を極めた架橋運動が語られていました。そして、人権侵害の歴史が二度と繰り返されぬよう今後も力を合わせていくことが必要であると訴えられていました。

昨年11月、長島愛生園、邑久光明園、大島青松園（高松市）の瀬戸内3園の世界遺産登録を目指すNPO法人「ハンセン病療養所世界遺産登録推進協議会」が発足し、世界遺産登録に向けた歴史的建造物の保存などに関する協議や隔離政策がもたらした人権侵害と地域社会への影響などの検証が始まりました。市としましては、これらの事業に対するクラウドファンディングによる財政支援だけでなく、様々な教育の場を通じ、人権に対する正しい知識を広め、議会の皆さま、市民の皆さまとともに人権問題に向き合う社会を作ることに貢献していく所存ですので、ご理解とご協力をお願いします。

また、5月20日岡山県消防学校において、第65回岡山県消防操法訓練大会が開催され、瀬戸内市を代表して出場した長浜分団が小型ポンプ操

法の部において、瀬戸内市として過去最高の第3位の荣誉に輝きました。さらに出場選手のうち2番員の団員が瀬戸内市消防団としては初めて優秀選手として表彰を受けました。今回の結果は、選手が年間通じて行ってきた厳しい訓練と、それを支えてきた消防団関係者の努力のたまものです。

近年全国的に消防団員の確保が困難な状況となっておりますが、ゲリラ豪雨や地震等による大規模災害が頻繁に発生している状況下において、共助の中心的存在である消防団は非常に重要な役割を担っています。市としても今後も団員確保や消防団活動に対し、積極的な支援をしていきたいと考えていますので、よろしく申し上げます。

以上申し上げ、早速ですが行政報告に移らせていただきます。

総合政策部関係

○ 市営バスの運行状況等について

昨年11月1日から市内3路線で運行を開始した市営バスの運行状況についてご報告します。

運行開始から今年4月末までの乗客数は、3路線合計で2,766人、一便当たりの平均乗車人数は、1.0人となっております。路線ごとの乗車人数は、牛窓～邑久駅線1,067人、西脇～邑久駅線447人、美和線1,252人でした。

今年2月までに沿線自治会を通じて行ったアンケートでは、それぞれの路線で「市営バスの運行を知っている」とされた方が8割以上に上りましたが、「市営バスに乗ったことがある」という方は3路線平均で1割余りと、まだまだご自分で移動する手段をお持ちの方が多という結果が出ていま

す。しかし、今後も高齢化が進むという状況を見据え、引き続き公共交通の利用促進を図っていく必要がありますので、「瀬戸内市地域公共交通網形成計画」に基づき、未導入エリアへの新たな公共交通の導入検討など、引き続き公共交通不便地域の解消を進め、外出機会の増加による健康増進、地域経済の活性化などにつなげていきたいと考えています。

市民部関係

○ コンビニ収納について

本年度から、固定資産税、軽自動車税、市民税、国民健康保険税、介護保険料及び後期高齢者医療保険料の普通徴収分として、1件30万円未満のものは、コンビニでの納付が可能となっています。4月に納税通知を行った固定資産税では、5月7日現在で窓口納付10,018件中、808件がコンビニ納付となりました。

今後も広報紙・ホームページ等でPRをすすめ、納税者の利便性向上に努めていきます。

○ ハンセン病療養所世界遺産登録推進プロジェクトについて

「ハンセン病療養所世界遺産登録推進プロジェクト」の名称で認定申請を行っていた、企業版ふるさと納税を活用した地域再生計画は、4月に内閣府の認定を受けることができました。

計画認定に基づき、NPO法人が実施する学術調査事業等を支援するため、事業費予算を今議会に計上していますので、よろしくお願いします。

環境部関係

○ 環境フェスタ in せとうちの開催について

6月10日に、ゆめトピア長船において、「環境フェスタ in せとうち」を瀬戸内市消費生活問題研究協議会、岡山県備前県民局と共催します。「環境と食」をテーマに、「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」コーナー、地産地消のフードコーナーや販売コーナー、移動図書館、エコ体験として環境カルタ、クイズ、紙芝居など大人から子どもまで楽しく環境を学べる場とし、ごみの減量や「COOL CHOICE」（賢い選択）の啓発を行っていきます。

多くの市民の皆さまにご参加いただけるよう、チラシ、広報紙、ホームページ等でご案内をしていきます。

保健福祉部関係

○ 産後母子支援事業について

産後うつ予防や新生児への虐待予防等を図る観点から、産後間もない時期の産婦に対する健康診査の重要性が指摘されています。このため、平成30年10月から国の補助事業を活用して、産婦健康診査、産後ケア事業を導入したいと考えています。産婦健康診査事業につきましては、健診に係る費用を助成することにより、産後の初期段階における母子に対する支援を強化し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援体制を整備しようとするものです。

また、産後ケア事業につきましては、産後に心身の不調や育児不安等がある退院直後の母子を対象とするもので、産婦人科病院等の空きベッドを活用し、休養の機会を提供するとともに、不安軽減のための心理的ケアや

育児に関する指導などを実施し、産後も安心して子育てができる支援体制を確保しようとするものです。

なお、今議会に関連予算を計上していますので、よろしくお願いします。

産業建設部関係

○ 豆田工業団地の進捗状況について

豆田工業団地の造成事業につきましては、平成29年度に関連する工事の発注をほぼ終えており、一部の事業について繰り越しをさせていただいていますが、本年9月頃までには全体工事の完了を予定しています。

また、今議会へも報告案件とさせていただいている事項としまして、平成28年度の繰り越し工事としていた市道豆田工業団地線の舗装工事につきまして、平成30年3月末の工事完了の予定としていましたが、売却予定企業である株式会社岡山村田製作所との交渉の中で、土地利用計画についての協議に不測の日数を要したため、工期内の完了が困難となったことにより、事故繰越となりました。この工事につきましては、既に完了しており、全体スケジュールへの影響もありません。

今後につきましては、当初の予定どおり、売却単価の決定に必要な不動産鑑定評価を行い、土地の分合筆、開発の竣功検査を経て、議会の議決をいただいた後、売却する運びとなりますので、その際にはよろしくお願いします。

○ 吉井川流域DMOについて

本市と赤磐市、和気町の2市1町で進めていた吉井川流域DMOは、設立準備会において、有識者の意見を踏まえた慎重な議論と関係者との調整

を重ね、去る5月30日に一般社団法人吉井川流域DMOとして、第1回目の理事会を開催し、正式にその業務をスタートしたところです。DMO (Destination Marketing/Management Organization : デステイネーション・マーケティング/マネージメント・オーガニゼーション) は、各市町に点在する地域資源、歴史や文化コンテンツ等の収集・整理を行い、主にインバウンド向けの観光資源として、それぞれの地域を広域的に結びつける役割を果たし、「観光地づくりの舵取り役を担う法人」となることを期待されています。

本市としては、多くの方々の協力により動き出した、この吉井川流域DMOの事業に期待をしつつ、今後も3市町で協力し、しっかりとしたチェックもしながら、この「インバウンド対策としての広域連携事業」に関与していきます。

病院事業部関係

○ 平成29年度の患者数の状況について

平成29年度の患者数は、入院が35,083人で平成28年度と比較して5,322人の増加、1日平均96.1人で病床稼働率は87.3%となりました。また、外来が48,638人で平成28年度と比較して3,550人の増加、1日平均199.3人となりました。

本年度は、1日平均入院患者数100人、病床稼働率90.9%、また、1日平均外来患者数230人を目標として運営に取り組んでいきます。

○ 第7回瀬戸内市民病院フェスティバルについて

市民の皆さまとの交流を通じて市民病院で提供する医療や健康づくりの

取り組みを知っていただくために「看護の日」の5月12日に瀬戸内市民病院フェスティバルを開催しました。邑久中学校吹奏楽部のオープニング演奏、市民団体による体操や合唱で華を添えていただいた後、院内医療設備の見学ツアーや医療機器操作体験、血管年齢や脚力の測定などに360人の方のご参加をいただきました。

同日には、医療、介護、福祉が連携し、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域包括ケアシステムの実現に向けた取り組みとして「第43回青空スマイル市」、「市民講座 在宅医療・介護推進フォーラム」が地域生活支援センターと総合福祉センターで医療・介護・福祉の一体的なイベントとして開催され、多くの来場者で賑わいました。

さて、今議会で提案申し上げます案件は、条例1件、補正予算1件、その他6件、計8件です。

よろしくご審議をいただき、適切なお決定をいただきますようお願い申し上げます。市長部局の報告を終わらせていただきます。

平成30年6月4日

瀬戸内市長 武久 顕也